

ICレコーダー かんたんスタートガイド



ICD-PX440

4-534-065-01(1)
© 2014 Sony Corporation Printed in China

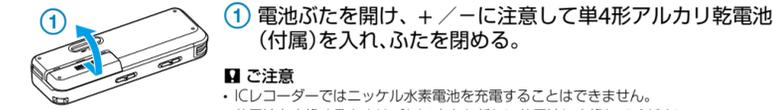


はじめに

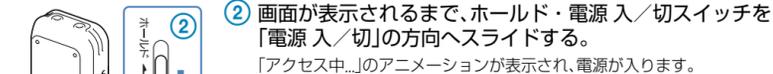
本書はICレコーダーをはじめてお使いになるときに必要準備、基本的な録音、再生、消去の操作方法や、上手な録音方法などを説明しています。その他機能の説明や、詳しい操作方は、別冊の取扱説明書またはヘルプガイド (<http://rd1.sony.net/help/icd/p44/jp/>) をご覧ください。

準備

電源を入れる

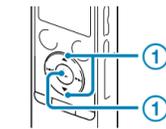


- 電池ふたを開け、+ / - に注意して単4形アルカリ乾電池(付属)を入れ、ふたを閉める。
- ご注意**
- ICレコーダーではニッケル水素電池を充電することはできません。
 - 乾電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。
- ヒント**
- ICレコーダーでは、以下の乾電池、充電をお使いになれます。
 - 単4形アルカリ乾電池2本(付属)
 - 充電式ニッケル水素電池単4形(別売)：NH-AAA-2BK
 - 充電器は、以下の製品をご利用ください。
 - ニッケル水素電池専用充電器・充電セット(別売)：BCG34HW24K



- 画面が表示されるまで、ホールド・電源入/切スイッチを「電源入/切」の方向へスライドする。「アクセス中...」のアニメーションが表示され、電源が入ります。
- 電源を切るには、「電源オフ」のアニメーションが表示されるまで、ホールド・電源入/切スイッチを「電源入/切」の方向へスライドします。
- ヒント**
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。(お買い上げ時の設定は10分になっています。)

時計を合わせる



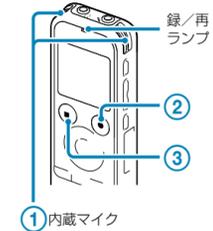
- ▲または▼を押して年の数字(西暦の下2桁の数字)を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。同じ手順で、月、日、時の順に設定する。
- 「分」の数字を選び、▶(再生/決定)ボタンを押すと、時計が設定されます。

ヒント

時計を設定しなかった場合、メニューを使って後からでも設定できます。詳しい操作方は、取扱説明書の「メニューを使って時計を合わせる」をご覧ください。

使ってみよう

1. 録音する



- 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。
- 録音/一時停止ボタンを押す。録音が始まり、録/再ランプが赤く点灯します。
- 録音を止めるには、■停止ボタンを押す。「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。

ヒント

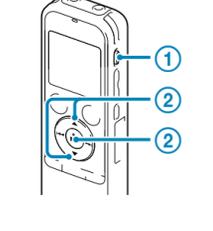
録音中に●録音/一時停止ボタンを押すと、録音が一時停止します。再度押すと、録音が再開します。

2. 再生する



- ▶(再生/決定)ボタンを押す。再生が始まり、録/再ランプが緑に点灯します。
- 音量-/+ボタンを押して、音量を調節する。
- 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

3. 消去する



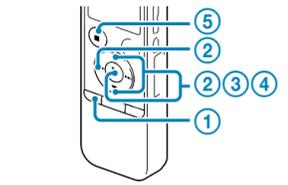
- 停止中または再生中に消去ボタンを押す。「消去しますか?」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。
- ▲または▼を押して、「実行」を選び、▶(再生/決定)ボタンを押す。「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが消去されます。

ヒント

録音を始める前にICレコーダーの電源が入っていることを確認してください。またホールド・電源入/切スイッチが「ホールド」位置になっているときは、ホールド・電源入/切スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください。

メニューを使う

メニューを使って、録音、再生、編集、表示、本体のさまざまな設定を行うことができます。ここでは、1例として操作音の設定方法を説明します。そのほかの設定項目については、取扱説明書またはヘルプガイド (<http://rd1.sony.net/help/icd/p44/jp/>) をご覧ください。



- メニューボタンを押す。メニュー画面が表示されます。メニュー画面ではさまざまな機能を設定することができます。
- ◀◀を押した後、▲または▼を押して、▶、▶、⏪、⏩タブのいずれかを選び、▶(再生/決定)ボタンを押して決定する。操作音を変更したい場合は、🔊を選びます。
- ▲または▼を押して、項目を選び、▶(再生/決定)ボタンを押して決定する。
- ▲または▼を押して設定を選び、▶(再生/決定)ボタンを押して決定する。
- メニューモードを終了するには、■停止ボタンまたはメニューボタンを押す。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中に◀◀を押します。

メモリー/タブ/フォルダ/ファイルを選ぶ

録音、再生、編集するファイル、フォルダ、タブ、メモリーを選択できます。

- タブ/メモリーを選ぶ。
 - フォルダボタンを押して、フォルダ選択画面を表示します。
- フォルダを選ぶ。
 - ▲または▼を押してフォルダを選び、▶(再生/決定)ボタンを押します。
 - ▶を押すと、選択したフォルダ内のファイルが表示されます。
- ファイルを選ぶ。
 - ▲または▼を押してファイルを選び、▶(再生/決定)ボタンを押します。

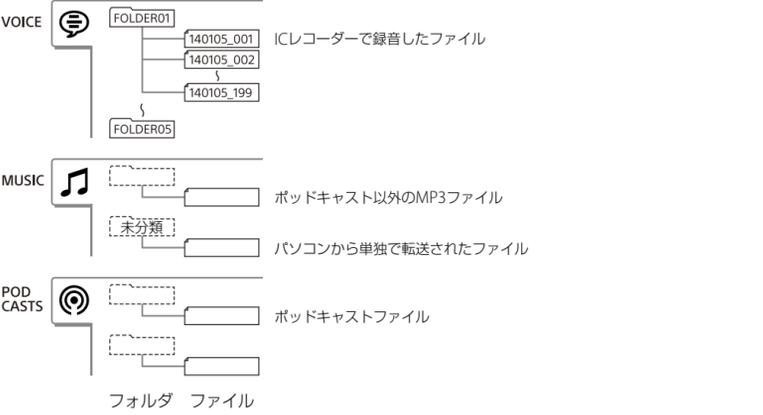
- ◀◀を押した後、▲または▼を押してタブを選び、▶(再生/決定)ボタンを押します。選択したタブ内のフォルダ選択画面が表示されます。
 - 🔊(Voice)：録音可能エリア。ICレコーダーで録音したファイルを管理するエリアです。
 - 🎵(Music)：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理するエリアです。
 - 📻(Podcast)：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理するエリアです。
 - 📁(内蔵メモリー)または📄(メモリーカード)：ICレコーダーの内蔵メモリーとメモリーカード*を切り換えることができます。

*本書では、M2_mとmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。

フォルダ、ファイルとタブ表示

このICレコーダーでは、フォルダとファイルを以下の3つのタブに分けて表示します。

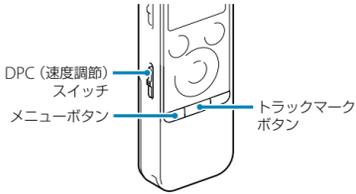
- 🔊(VOICE)タブ
ICレコーダーで録音したファイルが入るフォルダ(VOICEフォルダ配下のフォルダ)が表示されます。
- 📻(PODCASTS)タブ
ポッドキャストファイルが入っているフォルダ
- 🎵(MUSIC)タブ
パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。
 - MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ(階層が深い場合は、すべて並列に表示されます。)
 - MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
 - 「未分類」フォルダ(単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。)



初期設定では、VOICEタブに「FOLDER01」～「FOLDER05」の5つのフォルダが作成されます。**ヒント** フォルダの構成はICレコーダーでのタブ表示とパソコンで見た場合とで異なります。

その他の便利な機能

詳しい操作方は、取扱説明書またはヘルプガイド (<http://rd1.sony.net/help/icd/p44/jp/>) をご覧ください。



トラックマーク

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

デジタルピッチコントロール (DPC)

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

シーンセレクト

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でお好みの設定に切り換えることができます。(メニューで設定します。)

また、Myシーン1、Myシーン2では、お好みに合わせてシーンの設定を編集することができます。

上手に録音するために

ためし録りのススメ

部屋の大きさ、話をする人の声の大きさ、パソコンを近くで使用しているのかどうか…。録音環境は人によってさまざまです。望まれる「音質」も録音対象によって変わってきます。ためし録りは、大切な録音を失敗しないため、また、理想の音質に録音環境を整えるために大変有効なものです。

上手に録音するには

録音レベルを調整する

録音中は、録音レベルガイドが表示されます。



上段に録音中の入力レベルが表示されます。下段の白いバーは、入力レベルの適正範囲を表示します。



上の図のように、録音中の入力レベルが、下段の白い部分に収まるように、マイクの方向や音源からの距離を調節したり、マイク感度、シーンセレクトの設定を変更してください。

ヒント

入力レベルの白く表示される部分が少ない場合は、音源の近くに移動したり、マイク感度を高く設定することをおすすめします。

ノイズとして録音される可能性のある音について

ノイズの原因となる音とは

ICレコーダーには、音声以外のさまざまな音が録音されてしまうことがあり、ノイズとして聞こえてしまいます。録音されるノイズには以下のようなものがあります。



エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机の上に置いたものの振動、机の脚から伝わる足音などは、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。

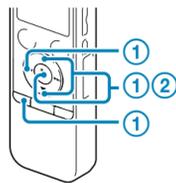
録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本体に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本体に触れないようにしてください。
- ノイズの原因となっている音から遠ざけるか、取りのぞいてください。
- 状況に応じた「録音モード」を選んでください。ノイズが気になる場合は、録音モードを高音質モードに設定することをおすすめします。

- 状況に応じた「マイク感度」を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、マイク感度を下げてみてください。
- 録音シーンに合わせて「シーンセレクト」を選ぶと録音モードやマイク感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り換えることができます。

用途に合わせた録音シーンを選ぶ

シーンセレクト機能は、さまざまな録音シーンに合わせて、録音モードやマイク感度などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。「Myシーン1」、「Myシーン2」にはお好みの設定を保存できます。



- 停止中にメニュー→「シーンセレクト」を選び、再生/決定ボタンを押して決定する。



- ▲または▼を押して、お好みのシーンを選び、再生/決定ボタンを押す。

設定したシーンは録音画面に表示されます。

会議

広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。ハンカチなどの上にICレコーダーをのせることで、机から伝わる振動音などのノイズを低減できます。発表者に近い場所で録音してください。



講演

講演会や講義を録音するときに適しています。マイクを音源の方向に向けて録音します。別売の指向性マイクを使用することで、録りたい音声を狙って録音することができます。



ボイスメモ

マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。録音するときは、マイク部に息がかからないように口のやや横に本体を近づけましょう。



インタビュー

インタビューや少人数での会議、打ち合わせなど、1 m～2 m くらいの距離で人の声を録音するときに適しています。マイクの向きをインタビュー相手に合わせて録音します。



歌・音楽

合唱の練習やアコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を2 m～3 m くらいの距離で録音するときに適しています。ICレコーダーをピアノの上のせて録音すると、ピアノを弾くときの振動も一緒に録音されてしまいます。ICレコーダーをピアノから2 m～3 m 離して録音してください。



ノイズを軽減させる設定

録音するとき(録音フィルターを設定する)

録音フィルター機能を設定すると、ノイズを軽減した録音ができます。

- 停止/録音中にメニュー → 「シーンセレクト」 → 「録音フィルター」を選び、再生/決定ボタンを押す。
- ▲または▼を押して、「NCF(Noise Cut)」または「LCF(Low Cut)」を選び、再生/決定ボタンを押す。



NCF (Noise Cut)	LCF(Low Cut)でカットできる低い周波数の音に加えて、音声以外の高い周波数の音をカットします。
LCF (Low Cut)	プロジェクターなどのノイズや風きり音といった低い周波数の音をカットします。
オフ*	録音フィルターを解除します。

*お買い上げ時の設定

- 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

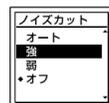
ご注意

「外部入力選択」が「Audio IN」に設定されていて、(マイク)ジャックに他の機器を接続しているときは、録音フィルター機能は動きません。

再生するとき(ノイズカット機能を使う)

再生時に、ノイズカット機能を有効に設定すると、プロジェクターや空調などの音声以外の周辺ノイズをカットします。全帯域のノイズを低減するため、人の声をクリアな音質で再生することができます。

- 停止/再生中にメニュー → 「再生/決定」 → 「ノイズカット」を選び、再生/決定ボタンを押す。
- ▲または▼を押して、「オート」、「強」または「弱」を選び、再生/決定ボタンを押す。



オート	ICレコーダーで録音したファイルに応じて、ノイズカット機能が自動的に動作します。
強	ノイズカットレベルを強くします。
弱	ノイズカットレベルを弱くします。「強」にして音声聞き取りにくいときに選びます。
オフ*	ノイズカット機能を解除します。

*お買い上げ時の設定

- 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

- 音楽を再生するときは、ノイズカット機能を「オフ」にしてください。
- 内蔵スピーカーで再生しているときは、ノイズカット機能は無効になります。

他機器と接続して使う

オーディオコードを使用して録音すると、周囲の音などの雑音を入れずに録音することができます。

お使いになれるオーディオコード(別売)

	ICレコーダー側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ミニプラグ(モノラル)(抵抗なし)
RK-G136	ステレオミニプラグ(抵抗なし)	ステレオミニプラグ(抵抗なし)

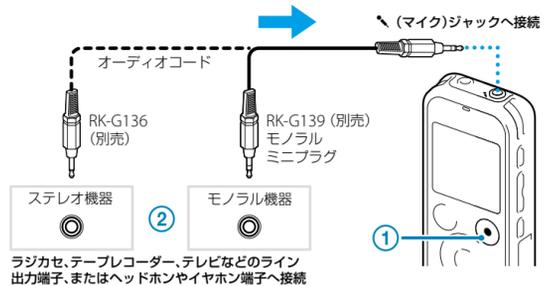
ラジカセ、テープレコーダー、テレビなどからICレコーダーへ録音する

準備

- マイク端子にオーディオコードを接続すると、「外部入力選択」が表示されますので、「Audio IN」を選びます。
- 停止ボタンを押して、メニューモードを終了します。

- 録音/一時停止ボタンを押す。

- 接続先の▶(再生/決定)ボタンを押す。



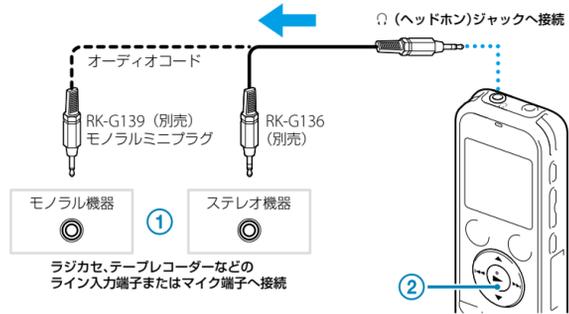
ヒント

- ICレコーダー内に挿入したメモリーカードに直接録音する場合は、あらかじめ設定を変更してください。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使ってICレコーダーと接続し、ICレコーダーの録音レベルガイドを確認しながら、他の機器の音量を調節してください。

ICレコーダーからラジカセ、テープレコーダーなどへ録音する

- 接続先の●(録音)ボタンを押す。

- ▶(再生/決定)ボタンを押す。



ヒント

録音された音声の音量が適切でない場合(音が小さかったり、ひずんだりした場合は)、ICレコーダーの音量を調節してください。